

鉄軌道駅の段差解消に向けた対応状況について
(臨時報告書)

【様式】

| | |
|--------------------------|----------------------|
| 未整備駅名 | 福岡駅 |
| 未整備駅の 所在都道府県及び市区町村 | 都道府県：福岡県 市区町村：福津市 |
| 路線名 | 鹿児島線 |
| 1日の平均利用者数 (平成20年度末現在) | 13287 |
| 鉄道事業者又は軌道経営者 関係自治体 | 九州旅客鉄道株式会社 福津市 |

バリアフリー化に関する現状

地上駅 3面5線
1番のりば(小倉方面：上り)は平面のため段差解消済。2番のりば(小倉・博多方面：上下)は段差解消未済。3・4・5番のりば(博多方面：下り)は段差解消未済。

バリアフリー法第6条では、施設設置管理者等の責務として、「施設設置管理者その他の高齢者、障害者等が日常生活又は社会生活において利用する施設を設置し、又は管理する者は、移動等円滑化のために必要な措置を講ずるよう努めなければならない」と規定されておりますが、この責務を踏まえ、鉄道事業者(軌道経営者)におかれましては、以下の質問にご回答下さい。(必須)

質問1 未整備駅について、平成22年(注)までにエレベーター又はスロープによる「段差の解消」を行うための計画の有無につきましてご回答下さい。(該当するものを で囲んで下さい。)

(1) 有 (2) 無

以下の質問2は、質問1で(1)と答えた鉄道事業者(軌道経営者)におきまして、ご回答下さい。

質問2 エレベーター又はスロープによる「段差の解消」を実現する予定の時期をご回答下さい。

・ 時期：平成22年 3月予定

(未定である場合はその理由を詳細にご回答ください。また、留意事項がある場合はご記入下さい。)

以下の質問3から質問4までは、質問1で(2)とご回答した鉄道事業者(軌道経営者)におきまして、ご回答下さい。

質問3 未整備駅について、平成22年(注)までにエレベーター又はスロープによる「段差の解消」を行うための計画をないとした理由及び課題についてご回答下さい。

質問4 平成23年(注)以降にバリアフリー化を行う場合、エレベーター又はスロープによる「段差の解消」を実現する時期及び実現までのプロセスをご回答下さい。

・ 時期：平成 年 月予定

・ 実現までのプロセス(スケジュール表等の添付も可)

(未定である場合はその理由を詳細にご回答下さい。)

(調査)

バリアフリー法第5条では、地方公共団体の責務として、「地方公共団体は、国の施策に準じて、移動等円滑化を促進するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない」と規定されておりますが、これら責務を踏まえ、所在都道府県及び市区町村におかれましては、以下の質問にご回答下さい。(任意)

都道府県(未整備駅の所在都道府県の記載事項)

質問 未整備駅について、鉄道事業者(軌道経営者)が実施するエレベーター又はスロープによる「段差の解消」の実現のための措置を講ずる意思の有無につきましてご回答下さい。(該当するものを で囲んで下さい。)

(1) 有 (2) 無

質問 質問 で(1)と答えた都道府県におきまして、未整備駅におけるエレベーター又はスロープによる「段差の解消」を実現するための措置の具体的な内容をご回答下さい。

福岡県は、交通施設のバリアフリー化は交通事業者の責任において行われることが、福岡県福祉のまちづくり条例の基本方針であること、また、駅は基本的に駅所在地住民により利用されるもので、地方公共団体の補助については、地元自治体(市町村)が負担することが妥当であることにより、県が直接対応していません。

質問 質問 で(2)と答えた都道府県におきまして、未整備駅におけるエレベーター又はスロープによる「段差の解消」を実現するための措置を講ずる意思がない理由の具体的な内容をご回答下さい。

市区町村(未整備駅の所在市区町村の記載事項)

質問 未整備駅について、基本構想の有無につきましてご回答下さい。(該当するものを で囲んで下さい。)

(1) 有 (2) 無

質問 未整備駅について、鉄道事業者(軌道経営者)が実施するエレベーター又はスロープによる「段差の解消」の実現のための措置を講ずる意思の有無につきましてご回答下さい。(該当するものを で囲んで下さい。)

(1) 有 (2) 無

質問 質問 で(1)と答えた市区町村におきまして、未整備駅におけるエレベーター又はスロープによる「段差の解消」を実現するための措置の具体的な内容をご回答下さい。

福津市では、福津市ユニバーサルデザイン計画(平成18年度)と福津市福祉のまちづくり整備基本計画(平成19年度)の一部にJR福岡駅とJR東福岡駅周辺地区の整備計画からなる移動等円滑化基本構想を位置づけています。当該駅については平成16年度に着手し、平成21年度に完成予定。財源には合併特例債を活用。基本構想については旧福岡町で平成12年度に策定した「福岡町ユニバーサルデザイン計画」の一部として作成し、平成13年4月に受理された内容のまま、現在も継続して取り組んでいます。

質問 質問 で(2)と答えた市区町村におきまして、未整備駅におけるエレベーター又はスロープによる「段差の解消」を実現するための措置を講ずる意思がない理由を具体的にご回答下さい。

| | |
|--------------|---------------|
| 担当部署等名 | |
| 鉄道事業者又は軌道経営者 | 九州旅客鉄道株式会社 |
| 都道府県 | 福岡県県土整備部企画交通課 |
| 市区町村 | 福津市総合政策部企画政策課 |

(注)様式中、「平成22年、平成23年」となっているが、鉄軌道事業者の事業計画期間を勘案し、「年度」と読み替える。